

令和 8 年熊本地震における被災市町への応援職員の派遣

令和 8 年 8 月 6 日 (0 7 時 3 0 分現在)

総 務 省 公 務 員 部

応援職員の派遣状況（速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

被災市町	応援職員派遣団体					
	総括支援団体	活動開始時期	派遣人数	対口支援団体	活動開始時期	派遣人数
熊本市	東京都	8 月 4 日	3 人	東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市	7 月 3 1 日	2 3 2 人
八代市	大分県	7 月 2 9 日	3 人	大分県、福井県、大阪府、岡山県、山口県、長崎県、鹿児島県、沖縄県、北九州市	8 月 1 日	1 1 9 人
宇土市	福岡県	7 月 2 9 日	3 人	福岡県、滋賀県、京都府、徳島県、香川県	7 月 3 0 日	3 5 人
宇城市	福岡市	7 月 2 9 日	3 人	福岡市、富山県、石川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、兵庫県、奈良県、和歌山県、宮崎県	8 月 1 日	1 7 5 人
美里町	長崎県	7 月 2 9 日	3 人	長崎県	8 月 1 日	1 6 人
御船町	-	-	-	宮城県、山形県、福島県、新潟県	8 月 1 7 日	1 0 人
嘉島町	-	-	-	北海道、青森県、岩手県、秋田県	8 月 1 0 日	1 0 人
氷川町	佐賀県	7 月 2 9 日	2 人	佐賀県、鳥取県、島根県、広島県、愛媛県、高知県	7 月 2 9 日	1 0 5 人
8 市町	6 都県市	-	1 7 人	6 5 都道府県市	-	7 0 2 人

総括支援団体：被災状況及び現地の応援ニーズの確認、災害マネジメント支援のための専門チーム派遣を行う団体

対口支援団体：避難所の運営・罹災証明書の交付等の災害対応業務を担うマンパワー派遣を行う団体

※ 総括支援チームを派遣している場合は原則として同一団体から対口支援チームを派遣

※ 応援職員派遣団体の都道府県には、域内市町村職員を含む

※ 対口支援団体の「派遣人数」は派遣予定人数

令和 8 年熊本地震への経済産業省の対応（8月6日（木）時点）

1. エネルギー・インフラの状況

	状況
電力	熊本県で約4.9万戸の停電が発生。31日（金）に高圧線の停電は復旧済み。 低圧線・引込線を原因とする停電は、連絡いただき次第当日～翌日までの解消を目指す。（九州電力送配電が24時間体制の相談窓口を設置。九州電力送配電及び電気工事業者が連携して対応する体制を構築。） 住民の方々からの復旧依頼件数は、5日時点で約20件まで減少（1日時点：約1,500件）。
発電所	火力発電所※1・原子力発電所※2ともに、運転継続中。 ※1：九電・電源開発保有の発電所、※2：川内①②号機・玄海④号機
都市ガス	都市ガス 八代市で約8,900戸供給停止のうち、約3,300戸（前日約3,100戸）で供給再開済。 市街地北部区域（約3,000戸）：液状化により導管の損傷個所が多い区域の約200戸（前日約300戸）を除き、約2,800戸で供給再開済（前日約2,700戸）。（家屋倒壊の5戸（前日3戸）を除く。） 市街地南部区域（約5,900戸）：安全性が確認された約600戸で供給再開済（前日約400戸）。その他区域については、液状化により導管の損傷個所が多いため、少なくとも1～2週間程度を要する見通し。 事業者にて、要請のあった病院や避難所への移動式ガス発生装置の配備を実施。希望されるご家庭にはカセットコンロを配布。
SS （ガソリンスタンド）	営業中67（被害の大きかった八代市、宇城市、氷川町のガソリンスタンド73か所の9割超） 復旧見込み：①人員確保後1か所、②8/15頃まで2か所、③数か月以上3か所 上記の他、震度6弱以上を記録した13市町村（熊本市、合志市、上天草市、宇土市等 計250か所）については、営業中248、営業不可2 八代市の出荷基地を活用するなど、通常時の最大4倍程度の供給力を確保。給油待ちの渋滞もなし。

2. 物資支援

- 被害の大きかった八代市・宇城市・宇土市・氷川町で9割以上のコンビニ（94店舗/100店舗）が営業。当該4市町等の被災地域の物量改善に向け、優先的な迂回ルート等をコンビニ各社に伝達し、活用開始。県内全体787店舗中、休業店舗数は、29日（水）時点で211店舗 ⇒ 6日（木）7時時点で7店舗
- 業務用エアコンは9か所要請、うち4か所で設置済、さらに5か所で設置中。循環型シャワー（WOTA）は71台設置済。
仮設・簡易トイレや段ボールベッド、熱中症対策用品、衛生用品、ブルーシート等についても順次熊本の物流拠点に到着。大手物流会社による配送支援もトラック24台まで拡充。

3. 中小企業・小規模事業者への支援

- ◆ 災害救助法の適用
（熊本県10市10町1村に適用）
- ◆ 相談窓口（20か所）を設置
◆ 資金繰り支援等*を実施
- *①災害復旧貸付等の実施、②セーフティネット保証4号（100％保証）の適用、③既往債務の返済条件緩和等の対応、④小規模企業共済災害貸付の適用

4. サプライチェーンの状況

- 一部の半導体関連工場では、設備等の確認・点検のため操業を停止していたが、TSMC熊本や三菱電機、ルネサスなど、稼働を再開している工場も増加。
- 一部の自動車部品工場において、設備等に被害が発生し操業を停止していたが、アイシン九州は8/2から一部部品の生産を再開。
一部の自動車OEMでは、部品メーカーの被害状況の確認等を優先し、生産を一部停止（8/8～8/16自動車メーカーはお盆休みのため非稼働）。

※ 6日（木）時点で、経産省本省13名・九州経産局6名・九州保安監督部3名、合計22名を熊本県庁・市町の現場へ派遣。

■インフラ復旧

○TEC-FORCEの活動

被災状況調査班等 延べ418名 (現在 5市町 9班派遣)

①熊本市 [給水支援] (8/1～)

・熊本市上下水道局にて給水支援を実施

②甲佐町 [建設機械] (7/29～)

・災害対策車両の調整等を実施

③八代市 [ヘリ調査] (8/6)

・被災状況の広域調査を実施

④他県内 [港湾] (8/6)

・三角港 (宇城市)、八代港 (八代市) にて船舶による給水支援

⑤氷川町 [支援要請] (8/5～)

・氷川町の要請を受け、災害ボランティアセンターの執務室として、対策本部車を派遣

○直轄施設 (河川、道路、港湾など)

(1) 高速道路、直轄国道

・高速道路

E3A 南九州道 (八代JCT～田浦IC) : 3区間 : 道路損壊、橋梁損傷

※日奈久IC～田浦IC : 1区間 : 緊急車両通行可。特に日奈久IC上り線出口のルートが複雑なため
通行時は注意が必要。

・直轄国道 (直轄高速除く)

被災による通行止め : なし

(2) 河川

- ・国管理河川では点検が完了し、3水系 8河川※91箇所では堤防天端のクラックなどの被害を確認。これ以外の国管理河川は被害無し。
- ・被害を確認した箇所の内、堤防の沈下や亀裂、はらみ出し等が生じた球磨川の堤防3箇所で緊急災害復旧工事に着手。その他、比較的損傷が軽微な88箇所（白川3箇所、緑川44箇所、球磨川41箇所）も順次応急復旧工事に着手したところ。
- ・このうち、8月5日までに球磨川の緊急災害復旧工事2箇所、応急復旧工事61箇所を完了。これまで、熊本市内を流れる白川と緑川について全て復旧が完了した。（8/6 11時30分時点）

(3) 港湾

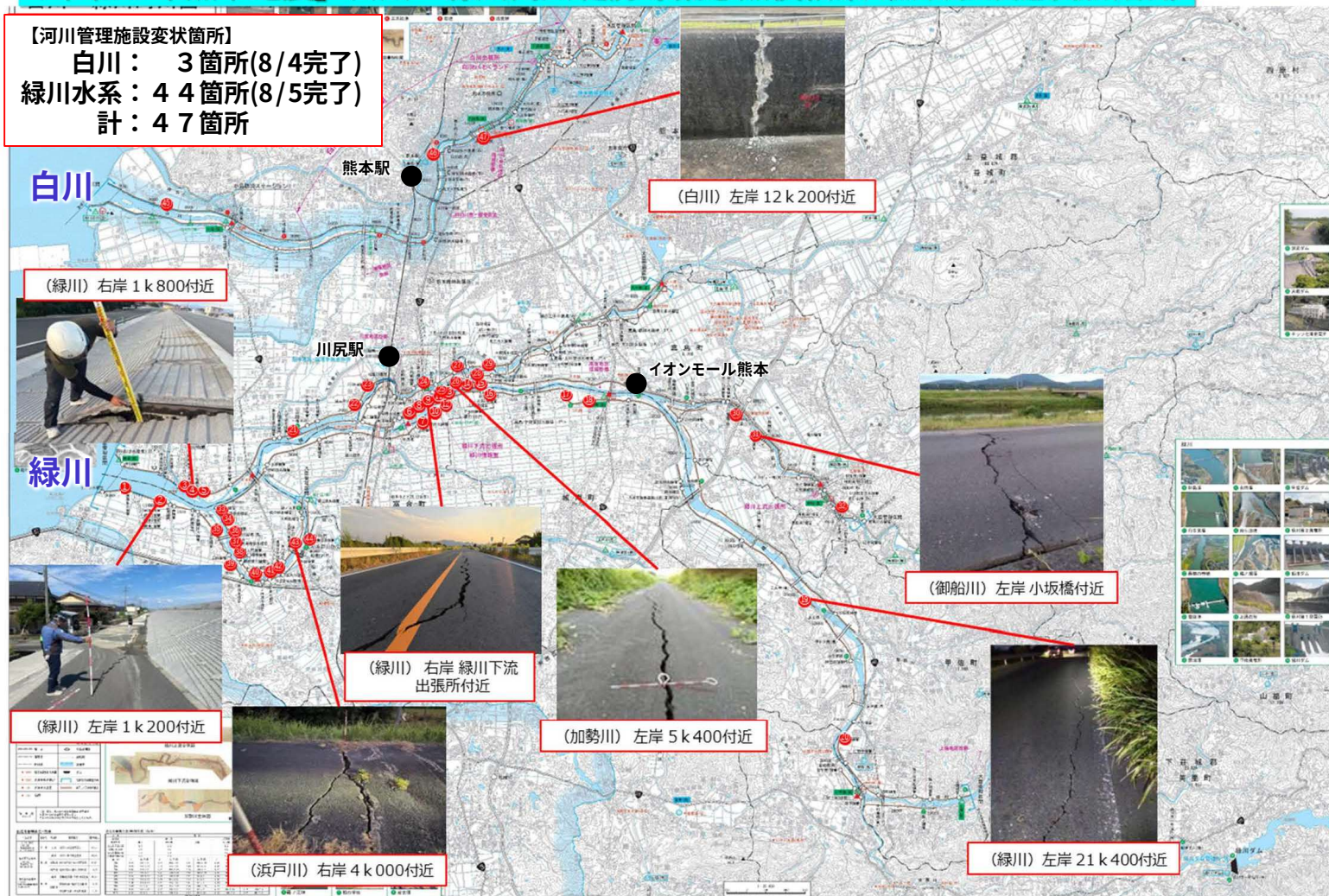
- ・八代港では、地震動による岸壁の変位及び液状化による噴砂や、沈下等が発生。
- ・耐震強化岸壁については29日に応急復旧を行い、コンテナ岸壁は7月30日に港湾空港技術研究所等の調査官の助言を得て利用可能と判断。
- ・その後も現地調査結果を踏まえた利用可否判断を順次行い、現在、八代港外港地区は5バースの利用が可能。
- ・各利用可能な岸壁に、海上保安庁や海上自衛隊、港湾局等の船舶が支援物資の輸送、給水、入浴等の支援を実施。

直轄河川堤防の変状箇所 (白川・緑川)

「令和8年熊本地震」白川・緑川河川堤防等緊急点検結果 (熊本河川国道事務所管内)

【河川管理施設変状箇所】

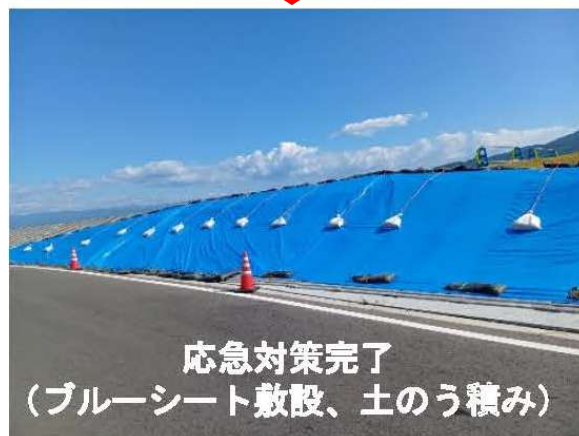
白川： 3箇所(8/4完了)
緑川水系： 44箇所(8/5完了)
計： 47箇所



※今後の調査により、変更になる可能性があります。

緑川全44箇所 の応急復旧工事を完了

(緑川 右岸2k000m付近:熊本市)



(緑川 右岸8k800m付近:熊本市)



(緑川水系浜戸川 右岸4k000m付近:宇土市)



○道路交通マネジメント

- ・災害発生時における道路交通の確保と円滑な交通マネジメントの実現のため、関係機関が連携し、九州地方整備局が中心となり「熊本県災害時交通マネジメント検討会 (令和8年熊本地震)」を実施。
- ・8月9日の週に、九州道宮原SAから坂本PA間の緊急車両の通行が可能となる見込み。
- ・8月後半には、一部通行制限を伴うが、九州道全線で一般車両の通行も可能となる見込み。
- ・路面の損傷が激しい箇所において舗装修繕工事を行うため、国道3号 (氷川町大野～八代市岡町中) で8月4日～8月7日の夜間に片側交互通行規制を実施。
- ・8月3日午前7時までに八代鏡宇土線 (県道14号) の倒壊建築物の撤去が完了し、同時に国道3号 (宇城・八代地域) の迂回路として、交通集中の分散を図っています。(迂回路看板により誘導)
- ・渋滞対策として、引き続き、次の対応を行う。①幅広い情報提供 (道路規制情報、渋滞情報等について、道路情報板、各機関HP、SNS等により、広く情報提供する。) ②関係者間の協力 (今後の交通状況に応じて、交通マネジメント検討会で協力し、交通混雑を緩和するための迂回路の設定など、必要な対策を検討する。)

八代市付近の交通状況について

〔高速道路並行区間
「松橋IC～八代JCT」〕

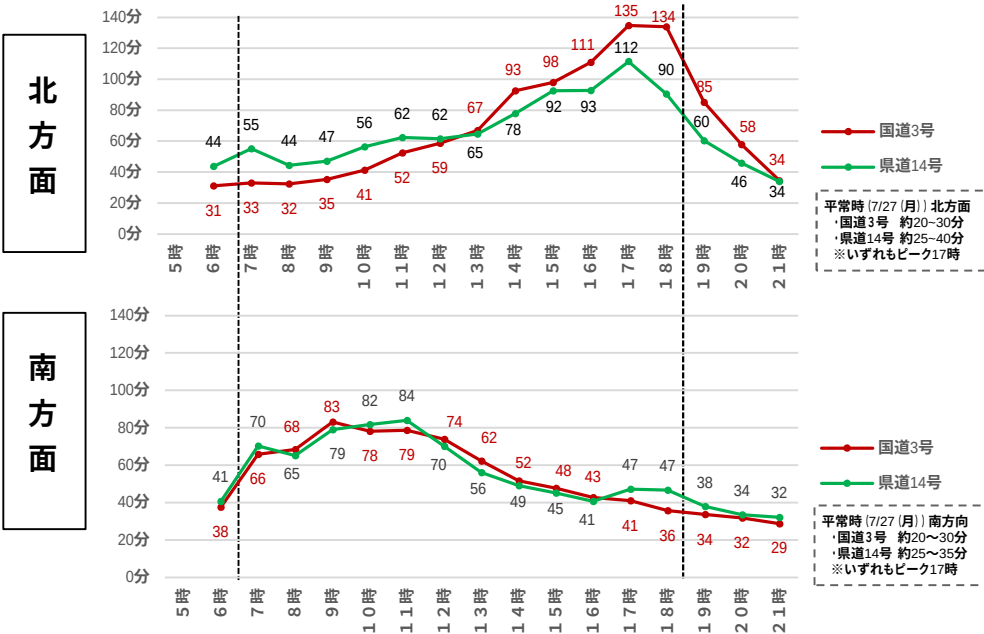
【R8.8.6 (木) 7:00～8:00】

ETC2.0旅行速度	
—	～5km/h
—	6～10km/h
—	11～15km/h
—	16～20km/h
—	21～30km/h
—	31km/h以上
通行止め区間	
—	緊急車両通行可
—	8/9の週中で緊急車両通行可の見込み



【時間帯別通過時間 (松橋IC～八代市内 (県道336号))】

8/5 (水)



【熊本県災害時交通マネジメント検討会の取組】

- 九州道通行止めに伴い、東九州道への広域迂回の呼びかけを7月28日(火)より実施
 - 国道3号に集中する交通を分散するため、8月3日に並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化
 - 国道3号における集中的な舗装補修工事による平坦性確保など、走行性を向上するための整備
→ 8/4 (火) ～8/7 (金) 夜間22時～翌朝6時 実施
※片側交互通行規制
 - 道路利用者への幅広い情報提供の実施
- ▶ 随時、関係者間で情報を共有し、取組みを更新・充実⁶

■被災者支援

○応急給水

- ・「現地応急給水支援本部」において、国土交通省の現地派遣職員が日本水道協会と連携し、自衛隊等による給水活動とも調整しながら、避難所・医療機関に加え、新たに福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施。引き続き、自衛隊の協力や、巡視船等からの給水により、応急給水の量や頻度を向上。
- ・給水車 合計190台 (国 18台、日本水道協会 112台、自衛隊 60台)
- ・水資源機構が保有する可搬式浄水装置について設置し、8/4 11:00より稼働開始。



○上下水道の復旧見込み

- ・8月末の断水解消に向け、上下水道の応急復旧に全力で取り組む。
- ・毎日10時時点で応急復旧状況を更新 (国交省HP)

8/6 10:00時点で、断水戸数は約37,600戸 (八代市、宇城市、甲佐町、氷川町)

水道

- 水道については、発災後、最大で約108,000戸が断水する状況となりましたが、国土交通省及び日本水道協会より水道技術者を全国から派遣し、点検・応急復旧作業を進めており、現在、断水戸数は約37,600戸（八代市、宇城市、甲佐町、氷川町）まで減少しています。
- 今後の復旧見込みは以下の通りです。

市町村	地区	断水解消見込み
八代市	旧八代市地区	8月末
	日奈久地区	8月中旬
	鏡町・千丁町・泉町	8月末
	東陽町	解消
宇城市	松橋地区	8月末
	小川地区	8月末
	豊野地区	8月末
	不知火地区の一部	解消

市町村	地区	断水解消見込み
甲佐町	船津地区	8月初旬
	南三箇地区	8月初旬
	中山地区	8月初旬
	津志田地区	解消
	有安地区の一部	8月初旬
氷川町		8月末

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る。

下水道

○ 下水道については、国土交通省、全国の自治体※、日本下水道事業団より下水道技術者を派遣し、4自治体（八代市、宇城市、宇土市、氷川町）において点検・応急復旧作業を進めており、作業終了の見込みは以下の通りです。

※日本下水道協会の全国の相互支援ルールに基づき派遣

○ 上記4自治体の下表に示す地区以外は、下水道が使えることを確認済みです。

市町村	地区	作業完了見込み
熊本市	熊本市北区の一部	完了
八代市	旧千丁町、旧鏡町	8月中旬
	旧八代市	8月中旬
	新八代駅周辺地区	8月中旬
宇土市	宇土市街地	8月中旬
宇城市	旧小川町	8月中旬
	旧松橋町、旧不知火町	8月中旬
氷川町	旧竜北町	8月末
	旧宮原町	8月末

■被災者支援

○船舶等による直接的な給水スポットとしての活動

- ・地方整備局・海上保安庁の船舶による給水・入浴支援の場所・時間等が一目で分かるよう、SNSを活用した情報発信を実施中 (毎日更新)。
- ・八代港において、8/5 (水) までに約287トン、本日8/6 (木) に約15.7トン (12:00時点) の給水支援を実施。
- ・三角港において、8/4 (火) までに約314トン、本日8/5 (水) に約0.03トンを給水 (12:00時点) の給水支援を実施。

○入浴支援

- ・八代港において、8/1 (土) から計911名への入浴支援を実施。
- ・三角港において、7/30 (木) から計571名への入浴支援を実施。



給水支援の様子

(調査観測兼清掃船「海輝」・「海煌」、八代港)

入浴支援の様子

(巡視船「いわみ」、三角港)

○ 国土交通省港湾局と海上保安庁は、船舶による給水や入浴等の支援の場所が複数となっている状況を踏まえ、支援の実施場所や時間、支援の内容等の情報について、連携してXを通じ情報発信中。



国土交通省港湾局 @MLIT_Port · 3h

#令和8年熊本地震を受け、#国土交通省港湾局・#海上保安庁 他各機関が連携し、#船舶を活用した支援を実施しています。

本日も#八代港、#三角港において#給水、#入浴 支援等を行います。

x.com/mlit_kyushu_kou

x.com/JCG_10th_RCGH

x.com/ModJapan_saigai

facebook.com/suisan-japan-jfa



7:00・2026年8月6日・9865 再生数

1 50 107 4

八代港における給水・入浴支援等実施場所・時間等詳細

2026年8月6日(予定)

地図 No.	場所	支援の種類	時間	対象	備考	船名(所属)
①	内港地区-4.5m岸壁	給水	11:00-17:00	市民向け(飲料水)	・給水希望者は容器を持参してください。 ・配布量は1回あたり5リットル程度です。	海輝、海煌 (九州地方整備局)
②	外港地区-12m岸壁	防衛省・自衛隊のSNS等でご確認ください。				くにさき (海上自衛隊)
③	外港地区-14m岸壁	給水	08:00-22:00	給水車向け(飲料水) 市民向け(飲料水)	・給水希望者は容器を持参してください。	れいめい (海上保安庁)
④	外港地区-10m岸壁	防衛省・自衛隊のSNS等でご確認ください。				はくおうⅡ (陸上自衛隊)

三角港における給水・入浴支援等実施場所・時間等詳細

2026年8月6日(予定)

地図 No.	場所	支援の種類	時間	対象	備考	船名(所属)
①	B岸壁	水産庁のSNS等でご確認ください。				白鷗丸 (水産庁)
②	A岸壁	防衛省・自衛隊のSNS等でご確認ください。				げんかい (海上自衛隊)
③	新C岸壁	給水	00:00-07:00	給水車向け(飲料水) 市民向け(飲料水)	・給水希望者は容器を持参してください。	いづみ (海上保安庁)
③	新C岸壁	給水	10:00-24:00	給水車向け(飲料水) 市民向け(飲料水)	・給水希望者は容器を持参してください。	さつま (海上保安庁)
		入浴	13:00-18:30 (シャワーのみ)	市民向け	・入浴支援中、携帯充電可能。	

※ 時間等が変更になる場合がありますので、最新情報は本文にリンクのある九州地方整備局、第十管区海上保安本部のSNS等でご確認ください。

※ 台風の影響により、当面の間、船舶による給水・入浴支援等を縮小・休止する可能性があります。

https://x.com/MLIT_Port/status/2085123710881853809



【熊本県公式】 気になる！くまもと @KumamotoPre_koh · 13m

8月2日に八代港・三角港にて給水支援が行われます。



国土交通省港湾局 @MLIT_Port · 1h

#令和8年熊本地震の発生を受け、#国土交通省港湾局・#海上保安庁では、#船舶を活用した支援を実施しています。

本日も#八代港、#三角港において#給水支援等を行います。

引き続き、被災地の早期復旧・復興に向けて取り組んでまいります。

x.com/mlit_kyushu_kou...

熊本県Xでもりポストし、情報発信

■被災者支援

○緊急物資輸送

2次輸送 (県→市町村の拠点輸送) は県トラック協会が輸送を手配中。3次輸送 (市町村→避難所等) については各自治体が運送事業者のサポートも得ながら対応中。

○緊急物資輸送 (雨漏り対策支援)

(一社) 日本建設業連合会等を通じて、土嚢袋約20万袋を配布済 (宇土市・美里町・菊陽町・山都町・八代市・氷川町・上天草市)。

あわせて、ブルーシートについては九州地方整備局と日本建設業連合会九州支社との災害協定に基づき、県・各市町へ約9,000枚を配布提供。



宇城市ブルーシート配送完 (R8.8.5)



宇土市ブルーシート配布状況

し尿回収業者の協力を得た避難所の仮設トイレ等の清掃管理スキーム

- 真夏の仮設トイレ等は、臭気を始めとして使用環境が悪化しやすいことから、生活環境の改善が急務。
- このため、トイレからのし尿の回収を既に委託している業者の協力を得て、し尿回収のタイミングに加え、それ以外のタイミングでも清掃管理を実施するよう市町村が追加で委託を行った場合に、その費用を事後的に精算することを可能とする財政支援スキームを構築。

(内閣府防災・環境省が連携し、避難所の設置・災害廃棄物処理に関連する支援制度を一体的に運用)

【スキーム概要】

支援対象となる
トイレ（例）



仮設トイレ



トイレカー

し尿回収業者

市町村による
し尿回収及び
清掃管理の
一体的な委託



し尿回収



清掃管理

財政支援

＜し尿回収と併せて清掃管理を行う回＞

環境省

〔 災害等廃棄物処理
事業費補助金 〕

＜し尿回収の必要がないため、清掃管理
のみを行う回＞

内閣府

〔 災害救助法
(避難所の設置) 〕

既存のし尿回収業者との連携を通じた
自治体・避難者の負担軽減、QOL向上

問合せ先

○内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（生活環境担当）付 03-3501-5693（直通）
○環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室 03-5501-3155（直通）

令和 8 年熊本地震に係る災害派遣について

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

概 要

- 令和 8 年 7 月 28 日（火）1627 頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度 7 の地震が発生。
- 同日（28 日）1730、熊本県知事から陸自第 8 師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 昨日（5 日）、陸自第 8 師団を中心とする自衛隊員約 5,100 名態勢で活動。

昨日 （5 日） の 自衛隊の 主な活動

【主な活動部隊等】

陸自第 8 後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自第 5 地対艦ミサイル連隊（健軍・熊本）、
陸自第 3 2 普通科連隊（大宮・埼玉）、海自艦艇 2 隻（げんかい、くにさき）、空自第 5
航空団（新田原・宮崎）、空自西部航空警戒管制団（春日・福岡）等

【輸送活動】

- 陸自第 8 後方支援連隊、陸自第 5 地対艦ミサイル連隊が、福祉施設等へのペットボトル飲料水の輸送を実施。

【給水支援活動】

- 八代市や宇城市をはじめとする市町の計 37 箇所において、給水車 60 両により、引き続き給水支援活動を実施。

【入浴支援】

<熊本市（1 箇所）>

- 陸自第 8 後方支援連隊
・火の君文化センターにてシャワーによる入浴支援を、午後 6 時から午後 10 時まで実施。

<宇城市（2 箇所）>

- 海自多用途支援艦「げんかい」、海自呉入浴支援隊
・三角港緑地公園にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後 3 時から午後 10 時まで実施。「げんかい」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。

- 陸自第 8 後方支援連隊

- ・小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後 5 時から午後 11 時まで実施。

<八代市（1 箇所）>

- 海自輸送艦「くにさき」、海自佐世保入浴支援隊
・八代港岸壁及び「くにさき」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後 3 時から午後 10 時まで実施。「くにさき」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。キッズスペース設置済み。

<氷川町（1 箇所）>

- 空自第 5 航空団、空自西部航空警戒管制団
・氷川中学校にて、水再生型シャワーによる入浴支援を、午後 2 時から午後 10 時まで実施。（男性：1600～1800、2000～2200、女性：1400～1600、1800～2000）

<宇土市（1 箇所）>

- 陸自第 8 後方支援連隊
・宇土市役所にて、シャワーによる入浴支援を、午後 5 時から午後 11 時まで実施。

【PFI 船舶「はくおう II」による生活支援】

- PFI 船舶「はくおう II」、PFI 船舶支援隊（陸自第 3 2 普通科連隊を基幹）
・八代港に停泊している「はくおう II」内で、入浴支援等の提供を午後 2 時から午後 8 時まで実施。

【連絡員の派遣状況】

- 熊本県庁等に、最大 9 箇所・延べ約 27 名派遣。

活動の様子（8 月 5 日）



【八代市】給水した水を利用者の車まで運ぶ隊員



【宇城市】海自「げんかい」の電灯艦飾を活用した照明 ※8/4撮影



【八代市】海自「くにさき」のキッズスペース ※8/4撮影



【宇土市】西部方面後方支援隊「葉隠乃湯」 ※8/4撮影



【八代市】「はくおう II」大浴場



【八代市】「はくおう II」で乗船受付を行う隊員